



2022年8月22日

各 位

会社名 日本ライフライン株式会社
代表者名 代表取締役社長 鈴木啓介
(コード番号：7575 東証プライム市場)
問合せ先 常務取締役管理本部長 山田健二
(TEL. 03-6711-5200)

脳血管内治療デバイスの独占販売契約の締結に関するお知らせ

当社は、Wallaby Medical (HK) Limited (以下「Wallaby Medical 社」という) と、脳血管内治療デバイス 11 品目について、2022 年 8 月から 10 年間の日本国内における独占販売契約を締結しました。なお、既に販売を行っております塞栓用コイルは、あらためて今回の契約の対象としております。

当社は、Wallaby Medical 社製の塞栓用コイルを 2022 年 4 月から脳血管向けに販売を開始しており、医療現場から既に高い評価を得ております。本契約で新たに取扱対象となる 10 品目の大部分は、Wallaby Medical 社が 2022 年 4 月に買収を完了した phenox GmbH (ドイツ) (以下「phenox 社」という) 製の製品であります。phenox 社は脳血管領域において、フローダイバーターやステントリトリバーなどの新規性が高い治療デバイスを幅広く有する医療機器メーカーであり、45 か国以上での販売実績があります。本契約の締結により、当社は、脳血管内治療の主要な対象疾患である急性期脳梗塞と脳動脈瘤の治療デバイスで、国内トップクラスの商品ラインナップを確立してまいります。(別紙「契約対象商品一覧」を参照)

急性期脳梗塞は、脳の血管が血栓で詰まることによって発症する疾患です。近年、急性期脳梗塞の治療は、従来の薬による治療に加え、カテーテルを用いた血管内治療が急速に普及してきており、年間約 1 万 6 千件の手術が行われています。当社は、まずこの領域において、血栓吸引カテーテルやステントリトリバーを含む 4 品目を 2024 年 3 月期中に発売する予定です。

脳動脈瘤は、脳動脈の血管壁が膨らんで、瘤(こぶ)のような形状になったものであり、くも膜下出血の危険がある疾患です。本疾患の治療デバイスについては、上市済みの塞栓用コイルに加え、今後、最先端の治療デバイスであるフローダイバーターや分岐部瘤用ステント等を導入する予定であります。

当社は、長年にわたり、心臓血管領域において、カテーテルを用いた低侵襲治療を可能にする様々なデバイスの販売・マーケティングのノウハウを培ってきました。これらの経験と販売力を活かし、今後、Wallaby Medical 社の幅広い商品ラインナップで脳血管領域に本格的に参入してまいります。

国内における脳血管内治療デバイスの市場規模は、現時点で年間約 300 億円であると想定しておりますが、最先端のデバイスを用いた治療は未だに普及期にあることから、今後も、市場は拡大していくことを見込んでおります。当社は、脳血管領域を包括的にカバーする商品ポートフォリオを構築し、医療現場の多様なニーズに応えていくことで、長期的に確固たる市場シェアの獲得を目指してまいります。

以上

Wallaby Medical 社について

Wallaby Medical 社は、脳血管内治療用の医療機器の開発・販売を行っています。同社の製品ラインナップには、脳動脈瘤を治療する「Avenir Coil System」、虚血性脳卒中を治療する「Esperance Aspiration Catheter」等があり、他にも多くの脳血管向けの製品を開発しています。同社の製品は、30以上の国と地域で販売されています。

また、同社は2022年4月に脳血管内治療デバイスのマーケットリーダーである phenox 社を2022年4月に買収しました。phenox 社は脳動脈瘤治療用の次世代製品のフローダイバーター「p64」や分岐部瘤用ステント「pCONUS」をはじめ、様々な革新的な製品を欧米で販売しております。

Wallaby Medical 社ウェブサイト：www.wallabymedical.com

phenox 社ウェブサイト：www.phenox.net/international/

【別紙】 契約対象商品一覧

対象疾患	導入予定商品	導入スケジュール
急性期脳梗塞	血栓吸引カテーテル	2024年3月期
	ステントリトリバー	2024年3月期
	バルーンガイディングカテーテル	2024年3月期
	マイクロカテーテル	2024年3月期
	ガイディングシース	2025年3月期以降
	脳血管 PTA バルーンカテーテル	2025年3月期以降
脳動脈瘤	塞栓用コイル	2021年12月導入済み
	ステントアシスト	2027年3月期以降
	フローダイバーター	2028年3月期以降
	分岐部瘤用ステント	2027年3月期以降
	脳血管攣縮用ステント	2027年3月期以降